

四日市下海老町高木伐倒作業-2009.10.10(土)

【1回目/1日目】

作業者: 小林造園3名(小林豊、森大平、萩好明、(小林忠立ち寄り参加))

グリーンボランティア「森林づくり三重」有志(小林貞佳、石塚盛行、山田俊雄)



ワイヤーとロープをかける



ワイヤー・ロープのかけ作業完了





梯子の先端部にある幹にチェーンソーで切り目を入れる。  
石塚さんが切り目を入れて、降り、梯子も外してから、ワイヤーを  
引っ張って、切り目の位置で、幹を折る。

上部の部分は、折れて、下に落下する。  
他の木には、接触せず、下の開放場所に落下する。





2本目の木、伐倒したところ。これから小切りし片付けます。  
狙った場所に倒せましたが、倒れ始めが早過ぎ。



幹の中心部が腐っていました。



次の木の  
伐倒準備に  
とりかかる。

伐倒木の周辺は  
きれいに  
片付けて  
退避準備も  
OK.

手前大木のところで  
ワイヤーを引っ張る。  
ワイヤーは、右奥の  
別の大木の  
幹に取り付けた  
滑車で方向を変えられ  
引っ張り位置まで  
戻ってきている。

本日はここまで。

次回予定：10/12(月) ケヤキ大木伐倒準備として、斜面の孟宗竹除伐  
10/13(火)、ケヤキ他2本を伐倒

(記事：山田俊雄)



## 四日市下海老町某宅の高木伐倒作業-2009.10.12(月),13(火)【2回目/2・3日目】

作業者: 小林造園4名(メイン: 小林豊、森大平、萩好明、(及び小林忠))  
グリーンボランティア「森林づくり三重」有志(小林貞佳、石塚盛行、山田俊雄)

経過説明: 初回は、10/10(土)に伐倒作業を行い、6本の傾斜大木の処理を実施。  
残された大木3本は、13日に処理と計画。  
下準備として、伐倒場所の竹林伐採を12(月)に4名で実施頂いた。

補注) 小林造園: 四日市市赤水町、電話: 0593-26-0581、及び: 0593-26-8519



ケヤキが対象木である。

上の枝葉は、民家側に成長し、重心は下の民家側にあり。

おまけに幹は、民家側に傾いて、手前の倒すのは、困難な状況であった。

あえてこの難易度大に挑戦する。

周知を結集するため、小林貞佳氏を中心に、協議を進めた。上部幹に3本のワイヤー、ロープを取り付け、の役目をさせることに決定。

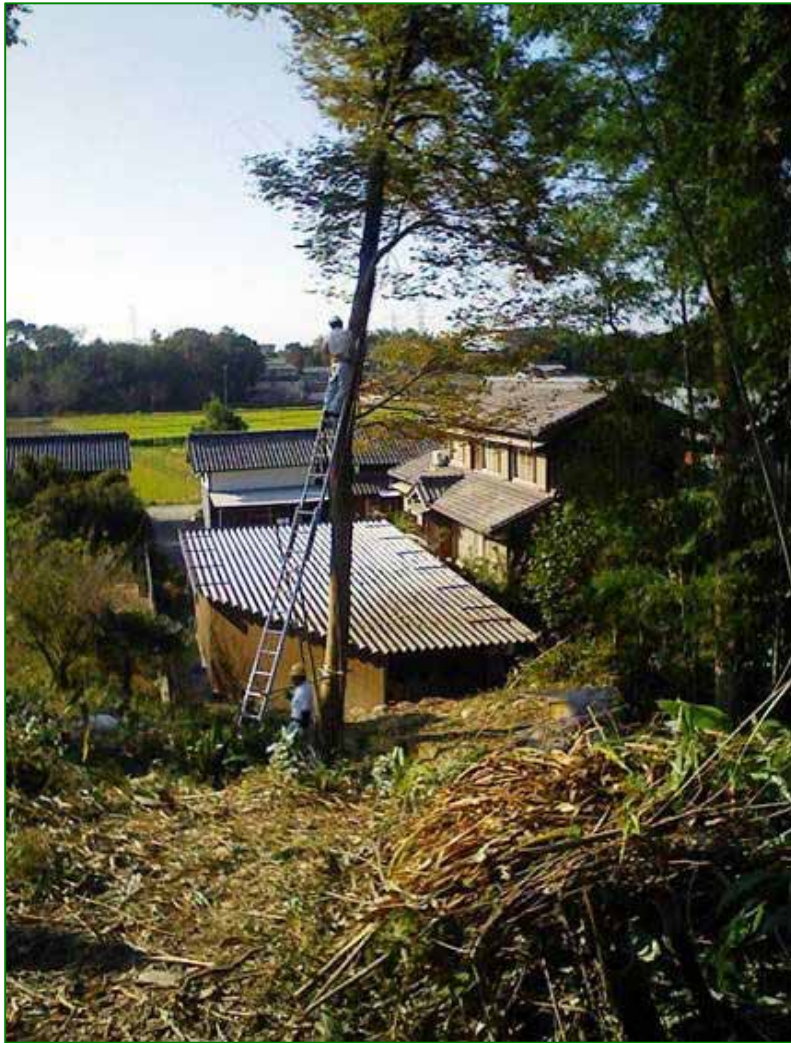
起しは、チェンブロック、

起した後の引っ張りには、ユニック車の巻き上げ。

所定位置からのズレ防止ロープは、若干の緩みを持たせて、別の木の根元幹に固定。

念のため、切断大木が斜面を滑り落ち、民家の納屋に突っ込むのを防止するロープを大木の根本に取り付けロープ端を別の木の根元にくくりつけた。





ワイヤー  
ロープの取り付け  
は2段梯子を  
使いました。  
外れないよう  
竹で梯子と  
幹を固定。

梯子の上は  
小林豊氏。

下は森太平氏。

上に3本、下に1本  
ワイヤ は上に2本、ロープ1本  
下の幹には、ロープ1本がつけられています。







受け口の入念なチェック。



突っ込み切りを行い、楔を二方から打ちこむ。後は後方より、チェンソーで追い口切りを行い、チェンブロックで、起しをいれ、伐採へと連続動作を加える。



追い口切りのあと、切断作業者は素早く、退避し、合図して、チェンブロック操作マンが引き倒し作業にはいる。倒れる瞬間をカメラがとらえる左から小林貞佳、石塚盛行。





狙った通りの場所に  
倒せました。

また、高さの目測も  
ぴったりでした。

小林貞佳氏を中心に  
皆の協力で、大仕事を  
成し遂げました。



記念撮影：

左から  
森太平、小林豊  
石塚盛行、萩好明  
小林忠、山田俊雄

撮影者は小林貞佳。





2本のうち、まず奥から。



次いで  
手前の大木  
に取り掛かる。

受け口作って  
突っ込み切り  
に入る。





### 倒れる瞬間の写真

チェーンソー操作マンの石塚盛行氏、退避して引き倒される大木を後方で見つめる。

狙った通りの位置に倒せた。

責任者3名  
左より小林貞佳  
小林豊、石塚盛行  
の面々。

伐採終了の記念撮影。

本日の作業は、  
これらを片付けて  
終了となる。



(文責;津 山田俊雄)



## 四日市下海老町某宅の高木伐倒作業-2009.10.20(火)

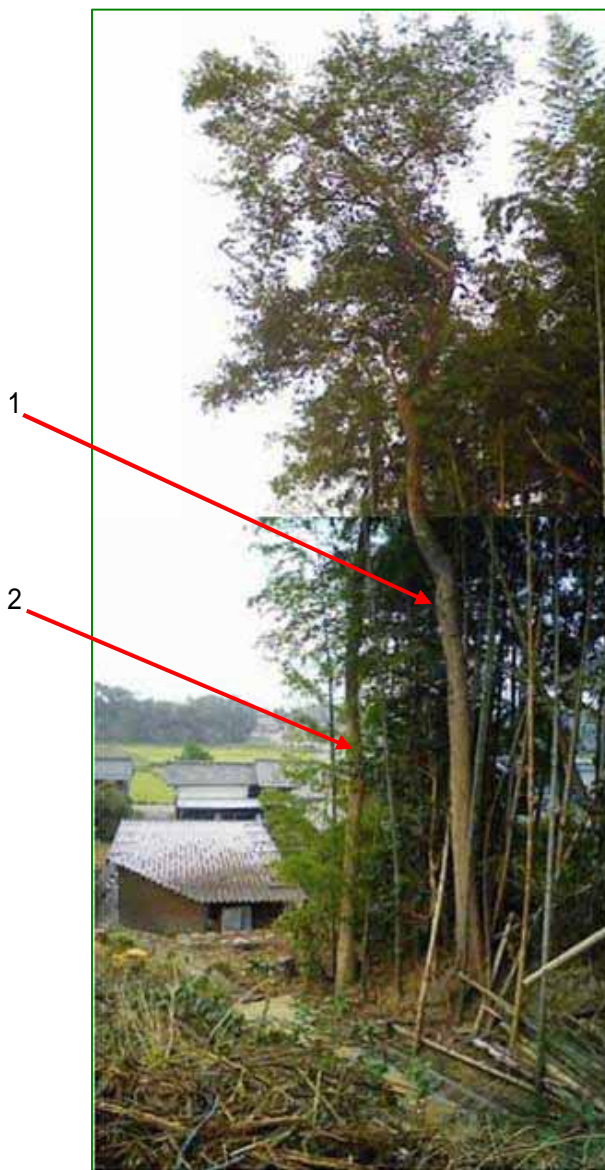
【3回目/4日目】

作業者：小林造園4名(メイン：小林豊、森大平、萩好明、(及び小林忠))  
グリーンボランティア「森林づくり三重」有志(小林貞佳、石塚盛行、山田俊雄)

経過説明：1回目は、10/10(土)に伐倒作業を行い、6本の傾斜大木の処理を実施。  
2回目は10/13(火)に実施し3本を処理。  
この下準備として、伐倒場所の竹林伐採を10/12(月)に4名で実施頂いた。  
3回目は10/20(火)に追加要請のあった近所のK宅の大木2本を、  
倒すことになった。

補注)小林造園：四日市市下海老町1665-1、電話：0593-26-0581、及び：0593-26-8519

この2本：伐倒  
対象木です。



孟宗竹に囲まれて  
生えていました。





入念な打合せを行っています。

作業手順：

伐倒場所の確保、根元周囲の整備のため、周辺の竹は除伐する。除伐した竹は、小切りして邪魔にならない場所に運び積んでおく。2本の対象木は、民家に遠い方から伐倒する。



孟宗竹1本づつ  
ロープをかけて右下のミカンの木に当たらないよう倒しては片付けるという時間のかかる作業を行いました。午前中は作業のほとんどを費やしました。



やっと2本の周辺の竹を除伐、片付け終わりました。伐倒1本目に引き倒しのワイヤーをかけ、昼食としました。





ワイヤー

上: 受け口次いで  
尾の目を入れて  
います。  
この後突っ込み切り  
追い口切り  
伐倒となります。

右: 倒れる瞬間の写真です。  
足場に使用した2段梯子  
は、根元に取りつけた  
パウンド後の民家への  
転がり防止用に取り付けた  
ロープにより曲がって  
しまいました。

ウーン残念。



ロープ





2本目伐倒  
に着手。



これも狙い通り  
に倒せました。

太い幹部分は  
小切りして  
積み置く  
ことにしました。

協力いただいた  
人は  
それは良く  
働く人たちで、  
チームワークも  
よく  
緊張しながら  
楽しく作業を  
続けることが  
出来ました。

文責：津、山田俊雄